

PAL

連合会だより「パル」

PALひろば
“共済”南北

今回は 岩手
八幡平ドラゴンアイ
(岩手県八幡平市)



今号の 主要項目

- 令和7年度連合会決算の概要
- 令和8年度長期給付に係る経理の予算収支状況(速報)
- 令和7年度情報交換及び特別徴収の実施状況について

CONTENTS

主要項目

1

令和7年度 連合会決算の概要

[総務部総務課]

P.03

主要項目

2

令和8年度 長期給付に係る 経理の予算収支状況(速報)

[総務部企画課]

P.12

主要項目

3

令和7年度 情報交換及び 特別徴収の実施状況について

[年金業務部]

P.14

年金制度等の日誌

年金制度等に関連した法律等の改正状況／
公的年金制度に関連した会議等の開催状況

P.16

業務等の状況

会議開催状況／会議開催予定

P.16

人事異動

P.17

■ 宿泊施設の紹介

清温荘

[地方職員共済組合岩手県支部]

P.18

■ PALひろば“共済”南北 209

いわてのおすすめ観光スポット

[地方職員共済組合岩手県支部]

P.19

令和7年度 連合会決算の概要

[総務部総務課]

はじめに

地方公務員共済組合連合会の令和7年度の決算（「厚生年金保険給付調整経理」、「退職等年金給付調整経理」、「経過的長期給付調整経理」、「厚生年金拠出金経理」、「基礎年金拠出金経理」、「厚生年金保険預託経理」、「退職等年金預託経理」、「経過的長期預託経理」、「介護保険経理」、「国民健康保険経理」、「後期高齢者医療経理」、「個人住民税経理」及び「業務経理」）について、その概要を説明します。

なお、この決算は、令和8年6月30日（火）に開催された第152回運営審議会の議を経て、承認されました。

厚生年金保険給付調整経理

令和7年度末の厚生年金保険給付調整積立金は、16兆4,867億5,818万円となりました。

① 収入について

・収入総額2兆1,696億9,227万7千円（令和6年度 1兆6,264億98万5千円）

厚生年金保険給付調整経理における収入は、国家公務員共済組合連合会より拠出を受ける「財政調整拠出金受入金」、組合から払い込まれる「組合払込金」、資金の運用による「信託の運用益」であり、内訳は表1及び図1のとおりです。

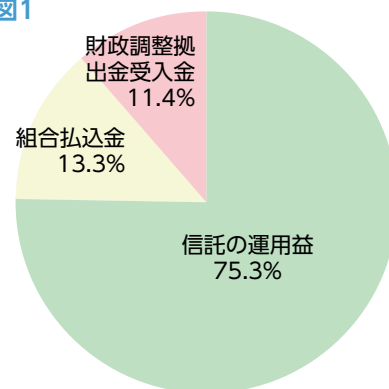
表1

(単位:千円)

科 目	事業計画額 (A)	決算額 (B)	比較増減 (B)－(A)
財政調整拠出金受入金	250,969,033	246,169,205	△ 4,799,828
組合払込金	37,861,619	289,345,694	251,484,075
信託の運用益	254,184,815	1,634,177,378	1,379,992,563
合 計	543,015,467	2,169,692,277	1,626,676,810

※金額はそれぞれ千円未満を四捨五入しているため、計及び合計の額は一致しないことがある(以下同じ。)

図1



※割合はそれぞれ小数点以下第2位で四捨五入しており、「0.0」は集計した数値が表章単位に満たないものである(以下同じ。)

② 支出について

・支出総額2,562億4,549万4千円（令和6年度 1,727億5,281万2千円）

支出としては、年金特別会計に対して拠出する「厚生年金拠出金負担金」、組合へ交付する「組合交付金」、「業務経理へ繰入」などであり、内訳は表2のとおりです。

表2

(単位:千円)

科 目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(A)-(B)
厚生年金拠出金負担金	240,080,808	240,080,807	1
組合交付金	17,120,000	10,167,000	6,953,000
信託の運用損	-	3,229,762	△3,229,762
業務経理へ繰入	2,767,925	2,767,925	-
合 計	259,968,733	256,245,494	3,723,239

※厚生年金拠出金負担金の比較増減の差額については、事業計画額と決算額の千円未満の端数処理方法の違いによるもの。

③ 当期利益金について

収入総額2兆1,696億9,227万7千円から支出総額2,562億4,549万4千円を差引いた「当期利益金」は1兆9,134億4,678万3千円となり、この全額を「厚生年金保険給付調整積立金」として積み立てました。

その結果、翌事業年度へ繰り越される「厚生年金保険給付調整積立金」の額は、16兆4,867億5,818万円となりました。

④ 資産の構成について

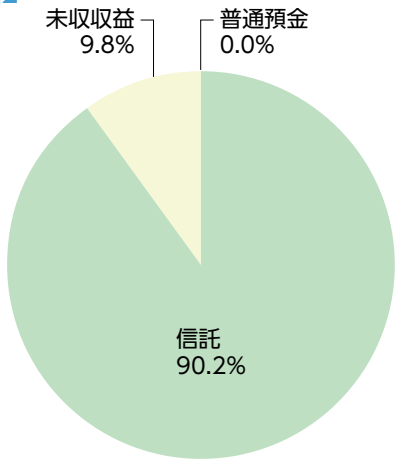
令和7年度末における資産の構成内容は、表3及び図2のとおりです。

表3

(単位:千円、%)

区 分	事業計画額(A)	割合	決算額(B)	割合	比較増減(B)-(A)
流動資産	普通預金	5,729,695	0.0%	1,013	0.0%
	未収収益	254,184,815	1.7%	1,622,897,130	9.8%
	計	259,914,510	1.8%	1,622,898,143	9.8%
固定資産	信託	14,435,159,528	98.2%	14,863,860,037	90.2%
	計	14,435,159,528	98.2%	14,863,860,037	90.2%
合 計	14,695,074,038	100.0%	16,486,758,180	100.0%	1,791,684,142

図2



⑤ 運用利回りについて

厚生年金保険給付調整積立金の管理運用については、安全かつ効率的な方法により運用するよう極力努めた結果、令和7年度における運用利回りは、10.70%となりました。

退職等年金給付調整経理

令和7年度末の退職等年金給付調整積立金は、2,297億2,657万5千円となりました。

① 収入について

・収入総額711億1,969万2千円（令和6年度 422億2,712万7千円）

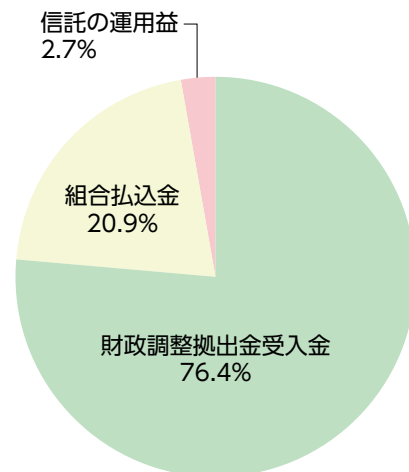
退職等年金給付調整経理における収入は、国家公務員共済組合連合会より拠出を受ける「財政調整拠出金受入金」、組合から払い込まれる「組合払込金」、資金の運用による「信託の運用益」であり、内訳は表4及び図3のとおりです。

表4

(単位:千円)

科 目	事業計画額 (A)	決算額 (B)	比較増減(B)－(A)
財政調整拠出金受入金	54,328,529	54,328,529	-
組合払込金	14,383,896	14,832,823	448,927
信託の運用益	1,680,469	1,958,340	277,871
合 計	70,392,894	71,119,692	726,798

図3



② 支出について

・支出総額4億9,349万円（令和6年度 4億3,724万円）

支出としては、「業務経理へ繰入」であり、内訳は表5のとおりです。

表5

(単位:千円)

科 目	事業計画額 (A)	決算額 (B)	比較増減(A)－(B)
業務経理へ繰入	596,571	493,490	103,081
合 計	596,571	493,490	103,081

③ 当期利益金について

収入総額711億1,969万2千円から支出総額4億9,349万円を差引いた「当期利益金」は706億2,620万2千円となり、この全額を「退職等年金給付調整積立金」として積み立てました。

その結果、翌事業年度へ繰り越される「退職等年金給付調整積立金」の額は、2,297億2,657万5千円となりました。

④ 資産の構成について

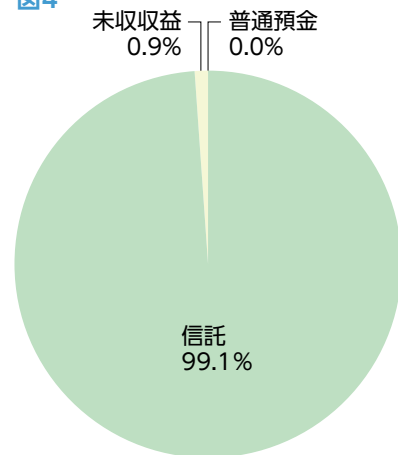
令和7年度末における資産の構成内容は、表6及び図4のとおりです。

表6

(単位:千円、%)

区 分		事業計画額 (A)	割合	決算額 (B)	割合	比較増減(B)－(A)
流動資産	普通預金	1,086,540	0.5%	574	0.0%	△1,085,966
	未収収益	1,680,469	0.7%	1,958,340	0.9%	277,871
	計	2,767,009	1.2%	1,958,914	0.9%	△808,095
固定資産	信託	226,130,855	98.8%	227,767,661	99.1%	1,636,806
	計	226,130,855	98.8%	227,767,661	99.1%	1,636,806
合 計		228,897,864	100.0%	229,726,575	100.0%	828,711

図4



⑤ 運用利回りについて

退職等年金給付調整積立金の管理運用については、安全かつ効率的な方法により運用するよう極力努めた結果、令和7年度における運用利回りは、1.01%となりました。

経過的長期給付調整経理

令和7年度末の経過的長期給付調整積立金は、15兆8,321億4,309万8千円となりました。

① 収入について

・収入総額1兆7,188億8,360万9千円（令和6年度 1兆2,719億1,487万4千円）

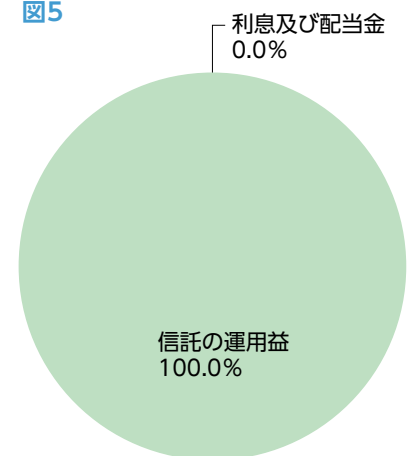
経過的長期給付調整経理における収入は、資金の運用による「信託の運用益」などであり、内訳は表7及び図5のとおりです。

表7

(単位:千円)

科 目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(B)-(A)
利息及び配当金	280,639	633,202	352,563
信託の運用益	250,077,494	1,718,250,407	1,468,172,913
合 計	250,358,133	1,718,883,609	1,468,525,476

図5



② 支出について

・支出総額2,317億2,864万3千円（令和6年度 2,231億4,069万3千円）

支出としては、国家公務員共済組合連合会への「拠出金」、組合へ交付する「組合交付金」、
「業務経理へ繰入」などであり、内訳は表8のとおりです。

表8

(単位:千円)

科 目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(A)-(B)
拠出金	172,498,300	167,698,472	4,799,828
組合交付金	63,188,000	60,506,000	2,682,000
信託の運用損	-	3,248,577	△3,248,577
業務経理へ繰入	275,594	275,594	-
合 計	235,961,894	231,728,643	4,233,251

③ 当期利益金について

収入総額1兆7,188億8,360万9千円から支出総額2,317億2,864万3千円を差引いた「当期利益金」は1兆4,871億5,496万6千円となり、この全額を「経過的長期給付調整積立金」として積み立てました。

その結果、翌事業年度へ繰り越される「経過的長期給付調整積立金」の額は、15兆8,321億4,309万8千円となりました。

④ 資産の構成について

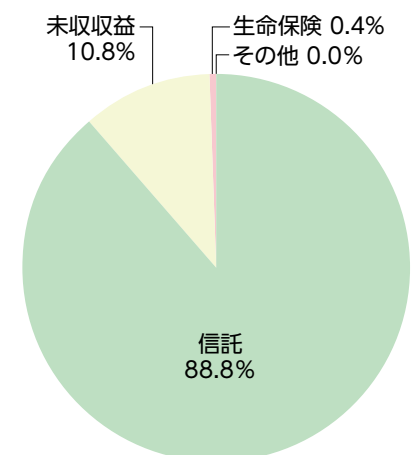
令和7年度末における資産の構成内容は、表9及び図6のとおりです。

表9

(単位:千円、%)

	区 分	事業計画額(A)	割合	決算額(B)	割合	比較増減(B)－(A)
流動資産	普通預金	212,440	0.0%	33,859	0.0%	△ 178,581
	未収収益	250,055,172	1.8%	1,706,940,983	10.8%	1,456,885,811
	計	250,267,612	1.8%	1,706,974,842	10.8%	1,456,707,230
固定資産	信託	13,860,051,806	97.7%	14,054,813,316	88.8%	194,761,510
	投資有価証券	106,819	0.0%	108,145	0.0%	1,326
	生命保険	69,895,783	0.5%	70,246,795	0.4%	351,012
	計	13,930,054,408	98.2%	14,125,168,256	89.2%	195,113,848
合 計		14,180,322,022	100.0%	15,832,143,098	100.0%	1,651,821,076

図6



⑤ 運用利回りについて

経過的長期給付調整積立金の管理運用については、安全かつ効率的な方法により運用するよう極力努めた結果、令和7年度における運用利回りは、11.52%となりました。

厚生年金拠出金経理

① 収入について

・収入総額6兆6,090億1,732万9千円

(令和6年度 6兆7,980億6,181万6千円)

厚生年金拠出金経理における収入は、各組合及び当連合会が負担する「厚生年金拠出金負担金」並びに年金特別会計から交付される「厚生年金交付金」であり、内訳は表10のとおりです。

表10

(単位:千円)

科 目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(B)-(A)
厚生年金拠出金負担金	3,112,008,212	3,112,008,212	-
厚生年金交付金	3,497,009,118	3,497,009,118	-
合 計	6,609,017,330	6,609,017,329	△ 1

※比較増減の差額については、事業計画額と決算額の千円未満の端数処理方法の違いによるもの(以下②及び基礎年金拠出金経理の項において同じ。)

② 支出について

・支出総額6兆6,090億1,732万9千円

(令和6年度 6兆7,980億6,181万6千円)

支出としては、年金特別会計へ納付する「厚生年金拠出金」及び各組合へ交付する「厚生年金交付金支払金」であり、内訳は表11のとおりです。

表11

(単位:千円)

科 目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(A)-(B)
厚生年金拠出金	3,112,008,212	3,112,008,212	-
厚生年金交付金支払金	3,497,009,118	3,497,009,118	-
合 計	6,609,017,330	6,609,017,329	1

基礎年金拠出金経理

① 収入について

・収入総額1兆6,401億2,388万2千円

(令和6年度 1兆3,772億6,570万8千円)

基礎年金拠出金経理における収入は、各組合が負担する「基礎年金拠出金負担金」及び年金特別会計から交付される「基礎年金交付金」であり、内訳は表12のとおりです。

表12

(単位:千円)

科 目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(B)-(A)
基礎年金拠出金負担金	1,617,954,566	1,617,954,565	△ 1
基礎年金交付金	22,169,318	22,169,317	△ 1
合 計	1,640,123,884	1,640,123,882	△ 2

② 支出について

・支出総額1兆6,401億2,388万2千円

(令和6年度 1兆3,772億6,570万8千円)

支出としては、年金特別会計へ納付する「基礎年金拠出金」及び各組合へ交付する「基礎年金交付金支払金」であり、内訳は表13のとおりです。

表13

(単位:千円)

科 目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(A)-(B)
基礎年金拠出金	1,617,954,566	1,617,954,565	1
基礎年金交付金支払金	22,169,318	22,169,317	1
合 計	1,640,123,884	1,640,123,882	2

厚生年金保険預託経理

① 収入について

・収入総額90億827万7千円

(令和6年度 56億6,221万1千円)

厚生年金保険預託経理における収入は、組合から預託された預託金の運用による「信託の運用益」であり、表14のとおりです。

表14

(単位:千円)

科 目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(B)-(A)
信託の運用益	2,098,007	9,008,277	6,910,270
合 計	2,098,007	9,008,277	6,910,270

② 支出について

・支出総額90億827万7千円

(令和6年度 56億6,221万1千円)

支出としては、組合への「支払利息」などであり、表15のとおりです。

表15

(単位:千円)

科 目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(A)-(B)
支払利息	2,098,007	8,280,560	△6,182,553
収益調整金償却	-	727,717	△727,717
合 計	2,098,007	9,008,277	△6,910,270

③ 運用利回りについて

預託金運用口全体の令和7年度の運用利回りは、9.83%となりました。

経過的長期預託経理

① 収入について

・収入総額93億1,407万7千円

(令和6年度 60億2,075万6千円)

経過的長期預託経理における収入は、組合から預託された預託金の運用による「信託の運用益」であり、表16のとおりです。

表16

(単位:千円)

科 目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(B)-(A)
信託の運用益	2,175,688	9,314,077	7,138,389
合 計	2,175,688	9,314,077	7,138,389

② 支出について

・支出総額93億1,407万7千円

(令和6年度 60億2,075万6千円)

支出としては、組合への「支払利息」などであり、表17のとおりです。

表17

(単位:千円)

科 目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(A)-(B)
支払利息	2,175,688	8,705,318	△6,529,630
収益調整金償却	-	608,759	△608,759
合 計	2,175,688	9,314,077	△7,138,389

③ 運用利回りについて

預託金運用口全体の令和7年度の運用利回りは、9.53%となりました。

退職等年金預託経理

令和7年度は、組合からの預託の実績はなかったことから、決算額の計上はありません。

介護保険経理

① 収入について

・収入総額24億2,862万5千円

(令和6年度 30億1,317万7千円)

介護保険経理における収入は、特別徴収義務者である組合が徴収する「介護保険料納入金」であり、表18のとおりです。

表18

(単位:千円)

科 目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(B)-(A)
介護保険料 納入金	2,542,538	2,428,625	△113,913
合 計	2,542,538	2,428,625	△113,913

② 支出について

・支出総額24億2,862万5千円

(令和6年度 30億1,317万7千円)

支出としては、市区町村へ納入する「介護保険料」であり、表19のとおりです。

表19

(単位:千円)

科 目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(A)-(B)
介護保険料	2,542,538	2,428,625	113,913
合 計	2,542,538	2,428,625	113,913

国民健康保険経理

① 収入について

・収入総額3,468万6千円

(令和6年度 4,043万3千円)

国民健康保険経理における収入は、特別徴収義務者である組合が徴収する「国民健康保険料及び国民健康保険税の納入金」であり、表20のとおりです。

表20

(単位:千円)

科 目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(B)-(A)
国民健康保険料 (税)納入金	38,014	34,686	△3,328
合 計	38,014	34,686	△3,328

② 支出について

・支出総額3,468万6千円

(令和6年度 4,043万3千円)

支出としては、市区町村へ納入する「国民健康保険料及び国民健康保険税」であり、表21のとおりです。

表21

(単位:千円)

科 目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(A)-(B)
国民健康 保険料(税)	38,014	34,686	3,328
合 計	38,014	34,686	3,328

後期高齢者医療経理

① 収入について

・収入総額28億1,822万1千円

(令和6年度 35億2,037万8千円)

後期高齢者医療経理における収入は、特別徴収義務者である組合が徴収する「後期高齢者医療保険料納入金」であり、表22のとおりです。

表22

(単位:千円)

科 目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(B)－(A)
後期高齢者医療保険料納入金	3,358,043	2,818,221	△539,822
合 計	3,358,043	2,818,221	△539,822

② 支出について

・支出総額28億1,822万1千円

(令和6年度 35億2,037万8千円)

支出としては、市区町村へ納入する「後期高齢者医療保険料」であり、表23のとおりです。

表23

(単位:千円)

科 目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(A)－(B)
後期高齢者医療保険料	3,358,043	2,818,221	539,822
合 計	3,358,043	2,818,221	539,822

個人住民税経理

① 収入について

・収入総額9億6,488万7千円

(令和6年度 10億7,470万7千円)

個人住民税経理における収入は、特別徴収義務者である組合が徴収する「個人住民税納入金」であり、表24のとおりです。

表24

(単位:千円)

科 目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(B)－(A)
個人住民税納入金	955,834	964,887	9,053
合 計	955,834	964,887	9,053

② 支出について

・支出総額9億6,488万7千円

(令和6年度 10億7,470万7千円)

支出としては、市区町村へ納入する「個人住民税」であり、表25のとおりです。

表25

(単位:千円)

科 目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(A)－(B)
個人住民税	955,834	964,887	△ 9,053
合 計	955,834	964,887	△ 9,053

業務経理

① 収入について

・収入総額79億7,975万円

(令和6年度 60億3,386万2千円)

業務経理における収入としては、組合員1人当たり1,500円の「組合分担金」及び「厚生年金保険給付調整経理より繰入」などであり、内訳は表26のとおりです。

表26

(単位:千円)

科 目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(B)-(A)
組合分担金	4,493,385	4,442,712	△50,673
雑収入	-	2	2
厚生年金保険給付調整経理より繰入	2,767,925	2,767,925	-
退職等年金給付調整経理より繰入	596,571	493,490	△103,081
経過の長期給付調整経理より繰入	275,594	275,594	-
前期損益修正益	-	27	27
合 計	8,133,475	7,979,750	△ 153,725

② 支出について

・支出総額83億2,530万9千円

(令和6年度 63億7,813万円)

(1)本年度中に行った主な会議は、次のとおりです。

- ア 役員会 3回
- イ 運営審議会 3回

(2)本年度中に行った監査は、次のとおりです。

- ア 監事会議 1回
- イ 決算監査 1回
- ウ 中間監査 1回
- エ 例月監査 12回
- オ 定期監査(監査員監査) 1回

(3)本年度中に行った主な事業は、次のとおりです。

- ア 基礎年金支払代行に係るシステムの維持管理及び事務
- イ 標準システムの維持管理
- ウ 情報共有化システムの運営及び維持管理
- エ 年金払い退職給付関連システムの維持管理
- オ 社会保障・税番号制度に係るシステムの運営及び維持管理
- カ 各種情報交換及び特別徴収に係る事務
- キ 資金運用全国説明会
- ク 年金積立金の管理・運用
- ケ 広報誌「連合会だより PAL」(6回)の発行
- コ 退職等年金給付に係る基準利率、終身年金現価率及び有期年金現価率の算定
- サ 退職等年金給付に係る財政検証

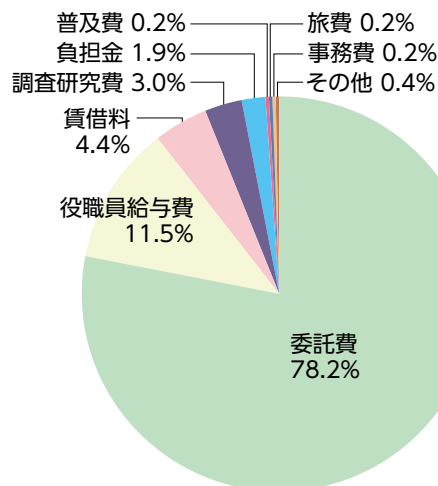
(4)これらの会議及び事業に要した経費は、総額83億2,530万9千円となっており、主な科目別内訳は表27及び図7のとおりです。

表27

(単位:千円)

科 目	事業計画額(A)	決算額(B)	比較増減(A)-(B)
役員報酬	74,449	76,075	△1,626
職員給与	858,632	882,854	△24,222
旅費	27,694	12,135	15,559
事務費	18,719	17,262	1,457
委託費	7,174,469	6,513,218	661,251
賃借料	380,537	363,389	17,148
調査研究費	373,262	248,921	124,341
普及費	23,837	19,313	4,524
負担金	152,447	157,120	△4,673
減価償却費	10,343	10,402	△ 59
その他	43,482	24,620	18,862
合 計	9,137,871	8,325,309	812,562

図7



③ 当期損失金及び剰余金の繰越しについて

収入総額79億7,975万円から支出総額83億2,530万9千円を差引いた「当期損失金」は3億4,555万9千円となり、翌事業年度へ繰り越される剰余金は17億9,919万2千円となりました。

令和8年度 長期給付に係る 経理の予算収支状況(速報)

[総務部企画課]

はじめに

令和8年度の地方公務員共済組合全体における厚生年金保険経理等(※)、退職等年金経理等(※)及び経過的長期経理等(※)に係る予算の収益総額、費用総額及び収支差は以下のとおりです。

(金額単位：百万円)

経理名	収益総額	費用総額	収支差
厚生年金保険経理等	9,290,532	8,817,303	473,229
退職等年金経理等	355,633	25,078	330,555
経過的長期経理等	696,890	801,256	▲ 104,366

※集計は、各共済組合及び市町村連合会の厚生年金保険経理、退職等年金経理及び経過的長期経理と地方公務員共済組合連合会の前記各経理に相当する経理(厚生年金保険給付調整経理、退職等年金給付調整経理及び経過的長期給付調整経理)、厚生年金拠出金経理及び基礎年金拠出金経理を対象としました。

なお、主な各収支項目の割合は下図1～6のとおりです。(金額単位:百万円)

図1 厚生年金保険経理等の収益の主な項目割合

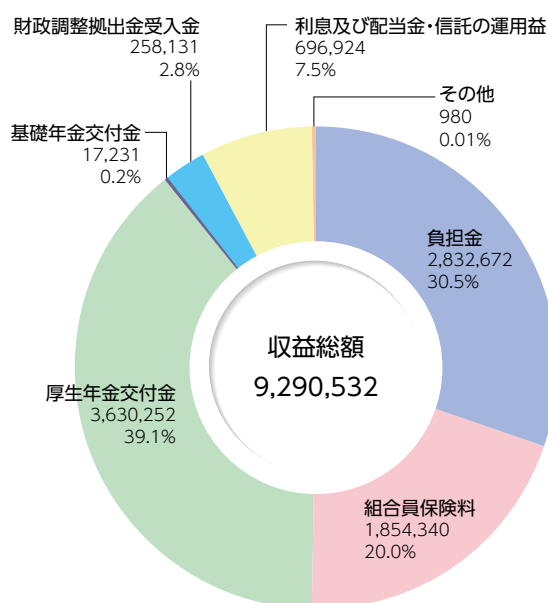


図2 厚生年金保険経理等の費用の主な項目割合

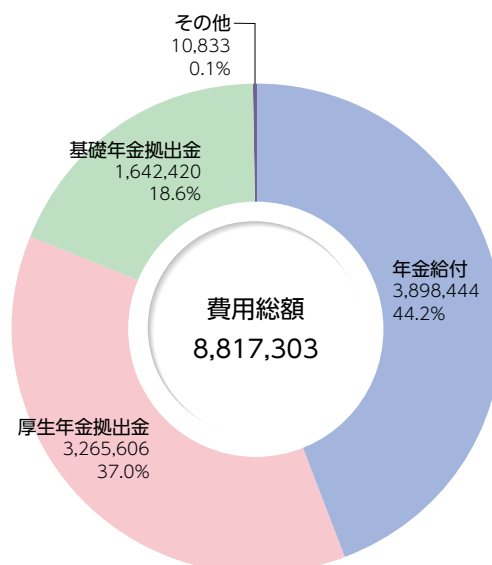


図3 退職等年金経理等の収益の主な項目割合

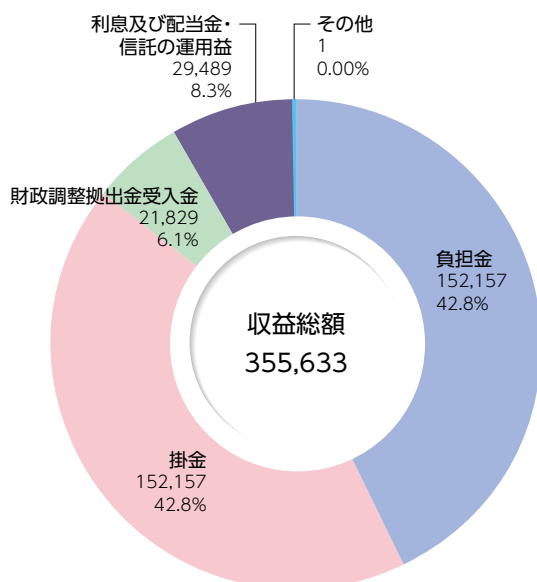


図4 退職等年金経理等の費用の主な項目割合

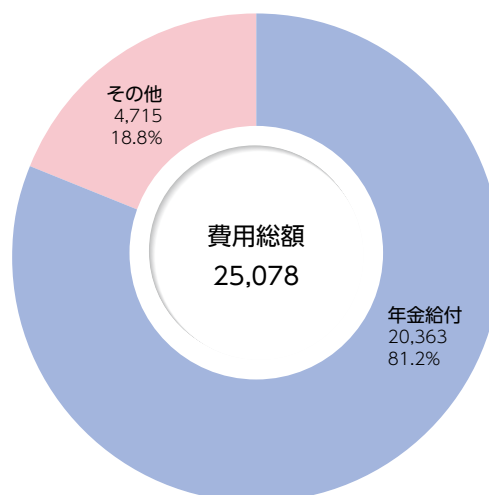


図5 経過的長期経理等の収益の主な項目割合

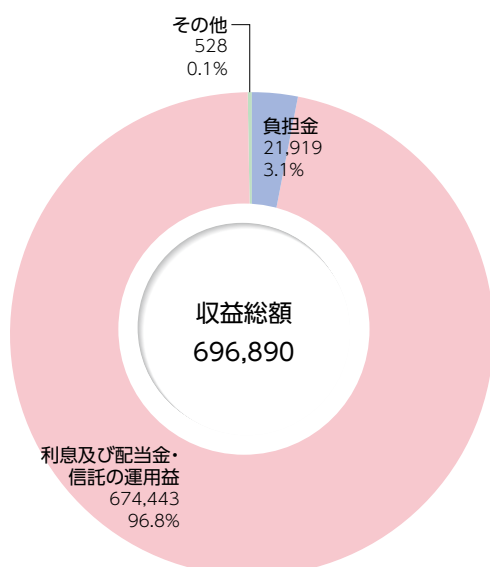
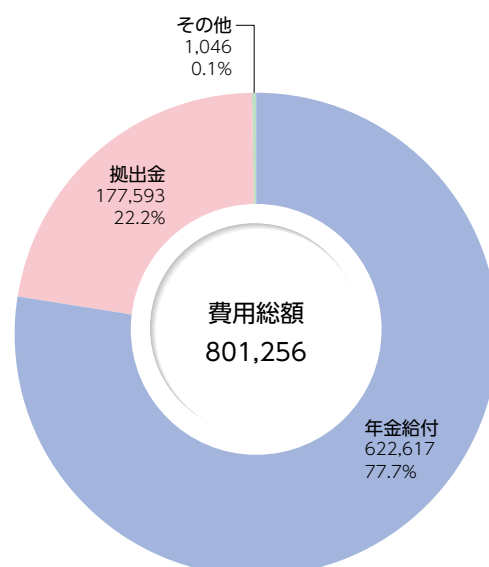


図6 経過的長期経理等の費用の主な項目割合



【備考】

- 1 地方公務員共済組合全体で見た場合に、二重計上となる項目（地方公務員共済組合連合会の「基礎年金拠出金」と各共済組合及び市町村連合会の「基礎年金拠出金負担金」等）については、一方のみを集計しました。「組合交付金（連合会交付金）」及び「組合払込金（連合会払込金）」については、集計していません。
- 2 収益の「その他」内訳（予算書における科目）
「退職一時金等返還金」、「前期損益修正益」、「雑収入」
- 3 費用の「その他」内訳（予算書における科目）
「負担金」、「雑費」、「業務経理へ繰入」、「前期損益修正損」
- 4 端数処理の関係で、内訳の合計と合計数が一致しないところがあります。

令和7年度 情報交換及び 特別徴収の実施状況について

[年金業務部]

情報交換事務に関する業務

1 基礎年金の年金請求等に関する情報交換

(1) 年金請求等に関する業務

共済組合と日本年金機構との間の窓口として、単一者等に係る基礎年金の年金請求書や各種情報交換文書の送付及び調整事務等を行っています。年金請求書等の送付件数は次のとおりです。

(単位:件)

区 分		令和7年度
年金請求書の送付件数	老齢基礎年金	19,470
	障害基礎年金	2,063
	遺族基礎年金	123
	合 計	21,656
年金受給選択申出書の送付件数		696
現況届の送付件数	老齢基礎年金	99
	障害基礎年金	3,762
	遺族基礎年金	676
	合 計	4,537

※「単一者等」とは、老齢基礎年金及び遺族基礎年金については、年金制度に加入した期間が地方公務員共済組合(国家公務員共済組合を含む。)の期間だけの者及びこれに準ずる者のことであり、障害基礎年金については、地方公務員共済組合の組合員期間のうちに初診日がある者のことである。

(2) 支払代行に関する業務

単一者等に係る基礎年金の支払代行に関する共済組合と日本年金機構との間の経由業務として、日本年金機構からの基礎年金支払情報の授受、当該情報の共済組合への提供に係る事務等を行っています。基礎年金の支払代行の件数及び金額は次のとおりです。

(単位:千件/千円)

区 分		令和7年度	
		件数	金額
基礎年金支払代行	老齢基礎年金	2,371	212,981,609
	障害基礎年金	188	29,038,654
	遺族基礎年金	5	960,530
	合 計	2,564	242,980,792

(注)合計は、端数処理の関係で内訳と一致しないことがある。

2 厚生年金の決定、改定等に関する情報交換

厚生年金の決定、改定等にあたっては、共済組合、日本年金機構、国家公務員共済組合連合会及び日本私立学校振興・共済事業団(以下「実施機関」という。)との間で、それぞれが管理する年金記録等の情報交換が必要な場合があります。この情報交換は、主にファイル転送等により行われています。

当連合会は、当該情報交換に関する情報連携システム及び情報交換システムを運営し、実施機関間の経由事務を行っています。

特別徴収事務等に関する業務

1 特別徴収事務の内容

介護保険法、国民健康保険法、高齢者の医療の確保に関する法律及び地方税法の規定に基づき、各保険・医療制度の保険者である各市区町村(以下「市町村」という。)と特別徴収義務者である共済組合との間の介護保険料、国民健康保険料(税)、後期高齢者医療保険料及び個人住民税(以下「保険料(税)」という。)の年金からの特別徴収に関する情報交換及び保険料(税)の納入等の経由事務を行っています。

(1) 年次処理[年1回]

ア 特別徴収対象者情報の通知

(共済組合→連合会→経由機関→市町村)

共済組合から特別徴収対象者情報の提供を受け、日本年金機構等の特別徴収対象者情報と突合処理し、当該情報との重複者を除いた後、該当市町村ごとに分割し、経由機関を通じて該当市町村に特別徴収対象者情報を通知しています。

イ 特別徴収依頼情報の通知

(市町村→経由機関→連合会→共済組合)

市町村から経由機関を通じて特別徴収依頼者及び保険料(税)額の依頼情報を受け、該当共済組合ごとに分割し、該当共済組合に通知しています。

(2) 月次捕捉処理[2か月毎]

ア 特別徴収追加候補者情報の通知

(共済組合→連合会→経由機関→市町村)

共済組合から特別徴収追加候補者情報の提供を受け、日本年金機構等の特別徴収追加候補者情報と突合処理し、当該情報との重複者を除いた後、該当市町村ごとに分割し、経由機関を通じて該当市町村に特別徴収追加候補者情報を通知しています。

イ 特別徴収追加依頼情報の通知

(市町村→経由機関→連合会→共済組合)

市町村から経由機関を通じて特別徴収追加依頼者及び保険料(税)額の依頼情報を受け、該当共済組合ごとに分割し、該当共済組合に通知しています。

(3) 月次処理[毎月]

各種異動情報の通知

(市町村→経由機関→連合会→共済組合)

市町村から経由機関を通じて毎月20日までに提出があった死亡・転出等の各種異動情報を該当共済組合ごとに分割し、該当共済組合に通知しています。

(4) 定期処理[2か月毎]

ア 徴収結果情報の通知

(共済組合→連合会→経由機関→市町村)

共済組合において特別徴収された保険料(税)の徴収結果情報を、該当市町村ごとに分割し、特別徴収した月の翌月10日までに経由機関を通じて該当市町村に通知しています。

イ 徴収保険料(税)の納入

(共済組合→連合会→市町村)

共済組合において特別徴収された保険料(税)を収納し、該当市町村ごとに分割し、特別徴収した月の翌月10日までに該当市町村が指定する金融機関口座に納入しています。

各徴収月に特別徴収した保険料(税)の実績

(単位 徴収金額:百万円 人数:人 市町村数:市町村)

令和7年度 徴収月	介護保険			国民健康保険		
	徴収金額	人数	市町村数	徴収金額	人数	市町村数
4月	450	42,906	1,591	6	923	478
6月	430	41,688	1,591	6	931	481
8月	412	40,324	1,582	6	919	480
10月	395	37,479	1,561	6	879	459
12月	378	36,290	1,557	6	856	453
2月	363	35,017	1,551	6	847	449
計	2,429	延べ 233,704	—	35	延べ 5,355	—

(単位 徴収金額:百万円 人数:人 市町村数:市町村)

令和7年度 徴収月	後期高齢者医療保険			個人住民税		
	徴収金額	人数	市町村数	徴収金額	人数	市町村数
4月	577	35,301	1,555	168	13,603	1,380
6月	534	34,072	1,549	160	13,014	1,375
8月	504	33,000	1,541	147	11,830	1,352
10月	421	31,353	1,520	172	12,351	1,356
12月	400	30,200	1,513	163	11,814	1,348
2月	382	29,028	1,504	155	11,291	1,337
計	2,818	延べ 192,954	—	965	延べ 73,903	—

(注) 徴収金額の計欄は、端数処理の関係で各徴収月の金額の合計と一致しないことがある。

年金制度等の日誌

■ 年金制度等に関連した法律等の改正状況

年月日	事項
R8.5.29	地方公務員等共済組合法施行規程の一部を改正する命令(内閣府・総務省・文部科学省令第3号)

■ 公的年金制度に関連した会議等の開催状況

年月日	事項
R8.6.16	社会保障審議会年金数理部会(第110回)

業務等の状況

■ 会議開催状況

6月19日 第150回 役員会	場所 地方公務員共済組合連合会特別会議室 内容 令和7年度決算(案)について、事務局から説明を行い、6月30日の第152回運営審議会に提出する旨決定されました。
6月30日 第152回 運営審議会	場所 地方公務員共済組合連合会特別会議室 内容 令和7年度決算(案)について、事務局から説明を行い、審議の結果、承認されました。

■ 会議開催予定

9月29日 年金事務担当者 研修会	○開催方式 WEB研修会 ○内容(予定) 1 地方公務員共済制度の最近の動向について (総務省自治行政局公務員部福利課) 2 ①令和8年10月から令和9年9月までの基準利率等について ②組合員等現況調査等に係るデータ提出にあたっての留意事項について (地方公務員共済組合連合会 年金業務部数理課) 3 令和7年改正法に係るシステム対応について(加給年金制度の見直し・遺族年金制度の見直し) (地方公務員共済組合連合会 年金業務部年金システム課)
8月28日・9月4日・11日・15日・28日 地方公務員共済の 長期給付に係る 資金運用等に関する 全国説明会	○開催日程及び開催場所 8月28日(金) 福岡県福岡市 福岡リーセントホテル 9月4日(金) 岐阜県岐阜市 ホテルグランヴェール岐山 9月11日(金) 島根県松江市 サンラポーむらくも 9月15日(火) 東京都港区 アジュール竹芝 9月28日(月) 宮城県仙台市 ホテル白萩 ※上記日程終了後、録画配信も予定しております。 ○講演内容(予定) 1 資産運用に関する基本的な考え方と実績 2 中長期的な投資リターンを拡大する取組 3 運用対象の多様化 4 運用力の強化に向けた取組 5 年金払い退職給付制度



宿泊施設の 紹介

地方職員共済組合
岩手県支部

地方職員共済組合繫保養所

清温荘

雄大な岩手のシンボル岩手山とシオン像がたたずむ御所湖がお出迎え。

地元の食材、季節の食材をふんだんに盛り込んだ四季折々の旬の味覚をお楽しみください。

皆様のご来荘を心よりお待ちしております。



露天風呂



外観



料理



ロビー



洋室



和室

ご予約・お問合せ

〒020-0055 岩手県盛岡市繫字湯の館33

☎ 019-689-2321 FAX 019-689-2323

🌐 <https://seionsou.com>

✉ seion-so@sepia.ocn.ne.jp



交通のご案内

バス: 盛岡駅東口10番乗り場
繫温泉線 盛岡つなぎ温泉下車徒歩5分

自動車: 東北自動車道「盛岡IC」車で約15分

いわてのおすすめ観光スポット

雄大な自然に抱かれた温泉地や昔ながらの町並み、心のこもった地元料理。
派手さはないけれど、しみじみと心に残る「東北らしさ」がここにはあります。
ゆったりとした時間の中で、心と体をリセットする旅へ出かけてみませんか。



盛岡手づくり村

経験豊富な職人の技と伝統工芸品、郷土の食やお菓子の制作風景を見学できる「手づくり工房」、盛岡地域の特産品をはじめ岩手県内の特産品を販売しています。



浄土ヶ浜

浄土ヶ浜は三陸復興国立公園にある三陸を代表する景勝地です。宮沢賢治も眺めたという浄土ヶ浜は、一度と言わず何度でも訪れたい名所です。



えさし藤原の郷

奥州藤原氏の歴史と平泉文化の源流を体感できる大規模歴史公園です。巨大な敷地内の「寝殿造」を再現した「伽羅の御所」や見事な赤が映える政庁など、多くの歴史的建造物がリアルに再現されています。



八幡平アスピーテライン

春(4月中旬～5月頃)には、冬の間に積もった雪を削って出来る巨大な雪の壁「雪の回廊」が出現します。また、秋の見事な紅葉ドライブも格別です。



宮古市瓶どん

牛乳瓶のような透明な瓶の中に、雲丹・イクラ・サーモン・メカブ等が美しく層を成して詰まっています。これを自分であつあつのご飯の上にかけて食べる見た目も味も最高の丼です。



郷土料理ひつつみ

小麦粉を練って手で「ひつつむ(ちぎる)」ことから名づけられた郷土料理。鶏肉・牛蒡・人参・きのこ・季節の野菜などが入った醤油ベースの汁で煮込んだ心も体も温まる優しい味の汁物です。



地方公務員共済組合連合会
Pension Fund Association for Local Government Officials

<https://www.chikyoren.or.jp/>

地方職員共済組合 <https://www.chikyosai.or.jp/>

公立学校共済組合 <https://www.kouritu.or.jp/>

警察共済組合 <https://www.keikyo.jp/>

東京都職員共済組合 <https://www.kyosai.metro.tokyo.jp/>

全国市町村職員共済組合連合会 <https://ssl.shichousonren.or.jp/>

指定都市職員共済組合／市町村職員共済組合／都市職員共済組合

連合会だより・第251号

令和8年7月発行

編集・発行 地方公務員共済組合連合会 総務部 企画課

〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-1-1

TEL 03(6807)3677(代)

表紙の写真:八幡平ドラゴンアイ(岩手県八幡平市)

5月中旬～6月上旬にかけて、八幡平山頂付近の「鏡沼」の雪解けの様子が龍の眼のように見える神秘的な現象「八幡平ドラゴンアイ」がお目見えします。

時期やその日の天候、太陽の光の差し込み方によってエメラルドグリーンからコバルトブルーへと

刻々と表情を変えるその瞳は、訪れる人の心を惹きつけて離しません。少し肌寒い春の山頂で、息をのむほどの感動が待っています。

